

## 聖書に学ぶ人間社会

－パウロの手紙を中心に－

### Learning about the human society from the Bible

－Mainly from Paul's Letter－

山下 雅弘

Masahiro Yamashita

#### 要旨

神は「最終目標」であると考えます。

本文では、聖書を現実的に解説し、人間社会に関係すると考えられる箇所を一部引用し、直後に論説します。究極的には神のためになることが幸いです。現代人は現代のルールに従うべきで、差別には反対です。聖書の引用には「新共同訳聖書」を用います。

本稿は、パウロの手紙を中心に扱います。

キーワード：(パウロの手紙) (市場経済の功罪) (経営改善)

#### I. はじめに

##### 創世記1

1 初めに、神は天地を創造された。

2 地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。

社会に秩序があることは大切です。また、混沌としている時も必要な時として考えられます。

##### 創世記15

6 アブラムは主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。

主を信じることに義があると考えられています。

##### 出エジプト記33

19主は言われた。「わたしはあなたの前にすべてのわたしの善い賜物を通らせ、あなたの前に主という名を宣言する。わたしは恵もうとする者を恵み、憐れもうとする者を憐れむ。」

神は「恵もうとする者を恵み、憐れもうとする者を憐れむ」存在であるようです。神業とは人が理解しにくいことです。

#### 列王記上 8

1 ソロモンは、そこでイスラエルの長老、すべての部族長、イスラエル人諸家系の首長をエルサレムの自分のもとに招集した。「ダビデの町」シオンから主の契約の箱を担ぎ上げるためであった。

2 エタニムの月、すなわち第七の月の祭りに、すべてのイスラエル人がソロモン王のもとに集まった。

列王記上 8 ではソロモン王は疫病がはやらないように願っています。歴代誌下 5 と 6 にも同様の記述があります。祇園は読み方を変えますとシオンと読め、祇園祭も 7 月の祭りであり疫病退散の神事が始まりとされ、二つの祭りは同じ思い同じ祈願から始められた祭りということになります<sup>(1)</sup>。聖書も祇園祭も国際交流に貢献していると考えられます。

祇園祭では、稚児が長刀鉾の正面に乗り巡行で常に先頭を走ります。

#### イザヤ書 28

16 それゆえ、主なる神はこう言われる。

「わたしは一つの石をシオンに据える。

これは試みを経た石

堅く据えられた礎の、貴い隅の石だ。

信ずる者は慌てることはない。

救われるためには基礎を固め慌てないことは必要です。

#### アモス書 7

12 アマツヤはアモスに言った。

「先見者よ、行け。ユダの国へ逃れ、そこで糧を得よ。そこで預言するがよい。

13 だが、ベテルでは二度と預言するな。ここは王の聖所、王国の神殿だから。」

14 アモスは答えてアマツヤに言った。「わたしは預言者ではない。預言者の弟子でもない。わたしは家畜を飼い、いちじく桑を栽培する者だ。

物事を批判的に見る必要があることがあります。自分にとって耳が痛いこと、一見都合が悪いと思うことを排除することが減びに繋がることはあり得ます。

わたしたちも現場をよく知ることは大切です。社会問題について庶民の声が国を、組織を救うことはあります。

#### アモス書 8

<sup>(1)</sup> 久保有政 (2014) pp.189-193 参照。

1 主なる神はこのようにわたしに示された。見よ、一籠の夏の果物（カイツ）があった。主は言われた。

2 「アモスよ、何が見えるか。」わたしは答えた。「一籠の夏の果物です。」主はわたしに言われた。

「わが民イスラエルに最後（ケーツ）が来た。

もはや、見過ごしにすることはできない。

果実が取れるのは草木の成長における最後の一時においてです。成長の初めは実りの多い状態ではないです。成果を出すことは重要ですが、成熟し良く見える物がたくさんある時は何かの最後でマイナスになりやすい時でもあります。種を蒔き、水をやることにも希望を抱きますとますます意欲が湧きます。そのように人が育まれます。

ストックを当てにしないことが必要であることがあります。

#### アモス書8

4 このことを聞け。

貧しい者を踏みつけ

苦しむ農民を押さえつける者たちよ。

貧しい者を踏みつけ苦しむ農民を押さえつけますと傾いていきます。

#### ルカによる福音書19

8 しかし、ザアカイは立ち上がって、主に言った。「主よ、わたしは財産の半分を貧しい人々に施します。また、だれかから何かだまし取っていたら、それを四倍にして返します。」

不正がない場合でも、本当にすべきことが支出の見直し、賃金の工夫であることはあります。

#### ヨハネによる福音書5

10 そこで、ユダヤ人たちは病気をいやしていただいた人に言った。「今日は安息日だ。だから、床を担ぐことは律法で許されていない。」

命に直接関わる医療や教育はわたしたちにとって重要です。病気の兆しに気付くことも大切で、日常の言動も福祉に繋がっています。経済も医療や教育を支えています。

市場経済には功罪がありますが長所を適用することは望ましいです。競争で高まることもあります。依頼人と代理人は理解し合うことが大切です。賃金体系が硬直し過ぎますと、収入に見合う支出にならないことがあります。その場合は給与を調整する必要があります。収入に応じ支出を、賃金を変動させる必要があります。部門ごとに段階的に切り下げることや一時帰休制、サバティカルのバリエーションも考えられます。多く稼ぐことと支出の少ない経営基盤が必要です。契約は市場に、社会に認められる必要があります。

安息の中に学問があるとも捉えられます。制度や慣習を見直すことによって適切になることがあります。既存の枠組みを取り払う必要があることもあります。オフにも喜んで仕えられるなら幸いです。

ヨハネによる福音書19

19ピラトは罪状書きを書いて、十字架の上に掛けた。それには、「ナザレのイエス、ユダヤ人の王」と書いてあった。

20イエスが十字架につけられた場所は都に近かったので、多くのユダヤ人がその罪状書きを読んだ。それは、ヘブライ語、ラテン語、ギリシア語で書かれていた。

御稲荷さんの由来は、「ナザレのイエス、ユダヤ人の王」のラテン語「Jesvs (Iesvs) Nazarenvs, Rex Ivdaeorvm)」の頭文字からの「INaRI」であるという説があり、古代日本の神道の神は聖書の神であったとも考えられています<sup>(2)</sup>。わたしたちもどこかで繋がる可能性はあります。イエスは誰もされたくないことをされたようです。

経営において無給労働をする方法もあります。そのようにリーダーシップをとることにより他の人は続きやすくなります。現実的ではないかもしれませんが、全員無給ならひとまず立て直ります。

ヨハネによる福音書19

30イエスは、このぶどう酒を受けると、「成し遂げられた」と言い、頭を垂れて息を引き取られた。

わたしたちは死に直面し悲しみます。生きるその時々が何かの終わりの時でもあります。もう終わりだと思ふことが必要であることもあり期待しないことも時には必要です。どん底を見ますとそれよりは良いと考えることができます。

## II. パウロの手紙を中心に

ローマの信徒への手紙1

17福音には、神の義が啓示されていますが、それは、初めから終わりまで信仰を通して実現されるのです。「正しい者は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。

わたしたちは今決められないことを今決めないことはあります。それによって良くなることはあります。最終的には損も得もないと考えることもあります。

ローマの信徒への手紙1

23減びることのない神の栄光を、減び去る人間や鳥や獣や這うものなどに似せた像と取り替えたのです。

人類にはこのような所があります。学問も減びることのないものにする必要があります。主の中にそれぞれの事柄が組み込まれていると捉えることも必要です。

ローマの信徒への手紙2

1だから、すべてを裁く者よ、弁解の余地はない。あなたは、他人を裁きながら、実は自分自身を罪に定めている。

<sup>(2)</sup> 飛鳥昭雄 (2016) pp.202-207、久保有政 (2014) pp.150-163参照。

あなたも人を裁いて、同じことをしているからです。

わたしたちはルールを守ることは必要ですが、正しさを主張することは他人を裁くことでもあります。他人の欠点が見えますと自分にも同様の欠点があることがあります。他人を裁きながら自分もそうであることがあります。批判することが優れていることとは限らないことはあります。

#### ローマの信徒への手紙3

28なぜなら、わたしたちは、人が義とされるのは律法の行いによるのではなく、信仰によると考えるからです。

律法の行いによって人が義とされるのではなく、信仰によって義とされると考えられています。わたしたちの正しさにこだわりさえすればすべてがうまくいくとは限らないことはあります。正しさが固まり過ぎていることもあります。善は主観的で進化する部分もあります。義はわたしたちが正しさを示さないことでもあります。正しさは必要ですが、それらを主張する者同士が共に生きることは大切です。

#### ローマの信徒への手紙5

18そこで、一人の罪によってすべての人に有罪の判決が下されたように、一人の正しい行為によって、すべての人が義とされて命を得ることになったのです。

人は自分の正しさを主張する傾向にあります。それが義とされ生かされるためには、正しい行為が必要であることは考えられます。周囲を認めていくことですべての人が生かされていきます。

#### ローマの信徒への手紙6

6わたしたちの古い自分がキリストと共に十字架につけられたのは、罪に支配された体が滅ぼされ、もはや罪の奴隷にならないためであると知っています。

7死んだ者は、罪から解放されています。

8わたしたちは、キリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きることにもなると信じます。

命を大切にしなければなりません、共に生きるとはキリストと共に生きることでもあります。その感覚を持つことにより、それまでを悔い改めることにより望ましく生きられることはあります。何かにとらわれていることを自覚することから救いが始まることがあります。

#### ローマの信徒への手紙7

18わたしは、自分の内には、つまりわたしの肉には、善が住んでいないことを知っています。善をなそうという意志はありますが、それを実行できないからです。

ローマの信徒への手紙7の15にもありますように、自分が望むことをせず、憎んでいることをしていることがあるかもしれません。

## ローマの信徒への手紙8

24わたしたちは、このような希望によって救われているのです。見えるものに対する希望は希望ではありません。現に見ているものをだれがなお望むでしょうか。

25わたしたちは、目に見えないものを望んでいるなら、忍耐して待ち望むのです。

ここで述べられている希望は、見えるものに対する希望ではないということです。わたしたちはよく分かっている明確な目標を望むだけではなく、見えないものを忍耐して待ち望むことも大切な希望として考えられます。

## ローマの信徒への手紙9

31しかし、イスラエルは義の律法を追い求めていたのに、その律法に達しませんでした。

32なぜですか。イスラエルは、信仰によってではなく、行いによって達せられるかのように、考えたからです。彼らはつまずきの石につまずいたのです。

善を行おうとすることは必要ですが、それだけで救われるとは限らないことがあると考えられます。その場所で安定した基盤を作ることから次のステップが始まる場合があります。

## ローマの信徒への手紙11

17しかし、ある枝が折られ、野生のオリーブであるあなたが、その代わりに接ぎ木され、根から豊かな養分を受けようになったからといって、

18折られた枝に対して誇ってはなりません。誇ったところで、あなたが根を支えているのではなく、根があなたを支えているのです。

豊かに受けることを誇れることもあります、それだけ支えられていることがあります。

## ローマの信徒への手紙12

13聖なる者たちの貧しさを自分のものとして彼らを助け、旅人をもてなすよう努めなさい。

貧しさは聖なることと考える必要があることがあるかもしれません。

## ローマの信徒への手紙14

22あなたは自分が抱いている確信を、神の御前で心の内に持っていなさい。自分の決心にやましさを感ぜない人は幸いです。

23疑いながら食べる人は、確信に基づいて行動していないので、罪に定められます。確信に基づいていないことは、すべて罪なのです。

確信に基づかない行動がうまくいかないことがあります。確信を抱いた決心を行動に移すことでうまくいくことがあります。空腹時には食べる決心をします。本音に基づいていないことは、それほど重要ではないことがあります。

す。

#### コリントの信徒への手紙一 1

12あなたがたはめいめい、「わたしはパウロにつく」「わたしはアポロに」「わたしはケファに」「わたしはキリストに」などと言いつついるとのこと。

お互いを尊重し話し合うことで力が出ることはあります。改めてグループを作る必要はないこともあります。誰につくかを超えて大切なことはあります。全員でする必要があることがあります。

#### コリントの信徒への手紙一 1

31「誇る者は主を誇れ」と書いてあるとおりにするためです。

無学であるとか無力であると思われる人が決してそうではないことはあります。弱いと思う人の方が分かることがあります。

#### コリントの信徒への手紙一 2

1兄弟たち、わたしもそちらに行ったとき、神の秘められた計画を宣べ伝えるのに優れた言葉や知恵を用いませんでした。

神の力とは優れた言葉や知恵を超えたことであると考えられます。巧みな言葉や知恵でなくても福音を告げ知らせることが大切であることが考えられます。シンプルな教えが核心をついていることはあります。

#### コリントの信徒への手紙一 3

11イエス・キリストという既に据えられている土台を無視して、だれもほかの土台を据えることはできません。

既に据えられている土台が最も強固であることがあります。

#### コリントの信徒への手紙一 3

13おのおのの仕事は明るみに出されます。かの日にそれは明らかにされるのです。なぜなら、かの日が火と共に現れ、その火はおのおのの仕事がどんなものであるかを吟味するからです。

土台が堅固で材料が良質であるか明らかになることがあります。それまでの仕事かどんなものであるか危機に試されることがあります。

#### コリントの信徒への手紙一 6

7そもそも、あなたがたの間に裁判ざたがあること自体、既にあなたがたの負けです。なぜ、むしろ不義を甘んじて受けないのです。なぜ、むしろ奪われるままでいないのです。

裁判ざたがあること自体問題で裁判を回避することは重要です。裁判官に裁いてもらうことが必要であることもあります。わたしたちの境遇は不義を甘んじて受けることや奪われるままで良い場合ばかりではありませんが、適切な所に収まることはあります。

#### コリントの信徒への手紙一7

17おのおの主から分け与えられた分に応じ、それぞれ神に召されたときの身分のままで歩みなさい。これは、すべての教会でわたしが命じていることです。

わたしたちは分相応であることは望ましいです。神に召されたときは様々に考えられますが、悪いときではないと考えられます。反対しなくても済むときは悪いときではないです。そのまま歩むことが望ましいときがあります。

#### コリントの信徒への手紙一7

31世の事にかかわっている人は、かかわりのない人のようにすべきです。この世の有様は過ぎ去るからです。

わたしたちは世の中にかかわりながら生きていますが、とらわれない方が望ましいことはあります。自分らしさを失う場合もあります。それまでの方法でうまくいかなることがあります。

#### コリントの信徒への手紙一8

2自分は何か知っていると思う人がいたら、その人は、知らねばならぬことをまだ知らないのです。

何かを知っていると思うだけでは完全でないことがあります。

#### コリントの信徒への手紙一9

18では、わたしの報酬とは何でしょうか。それは、福音を告げ知らせるときにそれを無報酬で伝え、福音を伝えるわたしが当然持っている権利を用いないということです。

そうせずにはいられないからやっていることの中に適性があります。福音を伝えることにより状況が改善されることはあります。当然持っている権利を用いないことで後に良くなることもあります。

#### コリントの信徒への手紙一10

14わたしの愛する人たち、こういうわけですから、偶像礼拝を避けなさい。

特定のことだけを尊重し行うだけでは十分でないことがあります。セットで考える必要のあることがあります。

#### コリントの信徒への手紙一10

33わたしも、人々を救うために、自分の益ではなく多くの人の益を求めて、すべての点ですべての人を喜ばそうとしているのですから。



行動原理としてすべての点ですべての人を喜ばせようとする必要があります。

#### コリントの信徒への手紙一12

7一人一人に、霊、の働きが現れるのは、全体の益となるためです。

自分の適性を知り全体の益となるよう働き、全体を築き上げる意識が必要であることがあります。一人一人役割を果たすことにより全体として機能します。

#### コリントの信徒への手紙一12

21目が手に向かって「お前は要らない」とは言えず、また、頭が足に向かって「お前たちは要らない」とも言えません。

22それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分が、かえって必要なのです。

ある人だけが必要で他の人は要らないとは言えません。社会の出来事も繋がっておりある事だけが必要で他は要らないということはないです。弱く見える事柄が必要であることがあります。

#### コリントの信徒への手紙一12

31あなたがたは、もっと大きな賜物を受けるよう熱心に努めなさい。

既存の仕事に計画的に着こうとすることとともに、熱心に努める中でより良くなることはあり得ます。もっと大きな仕事が必要であることがあります。皆同じことで仕えるのではなく、得意なことを伸ばし組み合わせることは大切です。

#### コリントの信徒への手紙一13

11幼子だったとき、わたしは幼子のように話し、幼子のように思い、幼子のように考えていた。成人した今、幼子のことを棄てた。

12わたしたちは、今は、鏡におぼろに映ったものを見ている。だがそのときには、顔と顔を合わせて見ることになる。わたしは、今は一部しか知らなくとも、そのときには、はっきり知られているようにはっきり知ることになる。

13それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。

最高の道は愛であるようです。幼子の時に好きであったことが本当に好きなことであることはあります。おぼろにしか見えない所に本当に目指すべき道があるかもしれません。

#### コリントの信徒への手紙一14

3しかし、預言する者は、人に向かって語っているので、人を造り上げ、励まし、慰めます。

4異言を語る者が自分を造り上げるのに対して、預言する者は教会を造り上げます。

5あなたがた皆が異言を語れるにこしたことはないと思いますが、それ以上に、預言できればと思います。

自分を造り上げる言葉と、人に伝える言葉があり両方必要であったようですが、後者の方がより重要視されたようです。言葉にならないこともあります。自分が納得するだけより人に伝え理解される方がより役立つことはあります。

コリントの信徒への手紙一15

14そして、キリストが復活しなかったのなら、わたしたちの宣教は無駄であるし、あなたがたの信仰も無駄です。

実際に死者が生き返るとは考えられませんが、失敗してもそれを生かしどん底からでも這い上がれると思えるようになれるかもしれません。

気が進まないならやる必要のないこともあります。

コリントの信徒への手紙一15

51わたしはあなたがたに神秘を告げます。わたしたちは皆、眠りにつくわけではありません。わたしたちは皆、今とは異なる状態に変えられます。

ここで述べられている復活の意味は今とは異なる状態に変わることであることが考えられます。

コリントの信徒への手紙一15

58わたしたちの愛する兄弟たち、こういうわけですから、動かされないようにしっかり立ち、主の業に常に励みなさい。主に結ばれているならば自分たちの苦勞が決して無駄にならないことを、あなたがたは知っているはずです。

周囲がどのように変わろうとも最も大切なことに常に励むことで可能になることはあり得ます。苦勞が役立つことがあります。

コリントの信徒への手紙一16

2わたしがそちらに着いてから初めて募金が行われることのないように、週の初めの日にはいつも、各自収入に応じて、幾らかずつでも手もとに取って置きなさい。

急に募金を行う必要が生じることもありますが、各自収入に応じ幾らかを手もとに取って置きますと補填になることはあります。

コリントの信徒への手紙二3

6神はわたしたちに、新しい契約に仕える資格、文字ではなく霊に仕える資格を与えてくださいました。文字は殺しますが、霊は生かします。

文字でたくさん表現することも必要ですが、沈黙して祈ることも大切です。

#### コリントの信徒への手紙二 8

11だから、今それをやり遂げなさい。進んで実行しようと思ったとおりに、自分が持っているものでやり遂げることです。

12進んで行く気持があれば、持たないものではなく、持っているものに応じて、神に受け入れられるのです。

自発的にすべきことは施しであることがあります。施しは進んで実行しようと思ったとおりに、自分が持っているものに応じてすれば良いと考えられています。

#### コリントの信徒への手紙二 9

7各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようと心に決めたとおりにしなさい。喜んで与える人を神は愛してくださるからです。

献金についてもルールに則る必要があります。その上で、各自、しぶしぶではなく、強制されてでもなく、喜んで与える必要があることはあります。

#### コリントの信徒への手紙二 10

4わたしたちの戦いの武器は肉のものではなく、神に由来する力であって要塞も破壊するに足ります。わたしたちは理屈を打ち破り、

5神の知識に逆らうあらゆる高慢を打ち倒し、あらゆる思惑をとりこにしてキリストに従わせ、

理屈は必要ですが、それだけでは乗り越えられないことがあるかもしれません。あまり思惑を持ち過ぎず進むことも大切です。

#### コリントの信徒への手紙二 10

17「誇る者は主を誇れ。」

18自己推薦するものではなく、主から推薦される人こそ、適格者として受け入れられるのです。

周囲も良くしようとしますと強くなれますし、自分の力だけよりもそれ以外の力の方が強いこともあります。さらに広く深く力をつけ最終的に適格であれば十分であることはあります。

ビジネスではお客様の満足を第一にすることが基本です。

#### ガラテヤの信徒への手紙 1

10こんなことを言って、今わたしは人に取り入ろうとしているのでしょうか。それとも、神に取り入ろうとしているのでしょうか。あるいは、何とかして人の気に入ろうとあくせくしているのでしょうか。もし、今なお人の気に入ろうとしているなら、わたしはキリストの僕ではありません。

人に取り入ろうとする必要があることもあります。続けますと人の気に入ろうとあくせくすることが続きます。自分らしく仕えられることは大切です。

#### ガラテヤの信徒への手紙2

16けれども、人は律法の実行ではなく、ただイエス・キリストへの信仰によって義とされると知って、わたしたちもキリスト・イエスを信じました。これは、律法の実行ではなく、キリストへの信仰によって義としていただくためでした。なぜなら、律法の実行によっては、だれ一人として義とされないからです。

人が決められるのではなく神にしか決められないこともあります。すなわち、自分（たち）だけですべてを決められると思っても本当はそうでもないことがあります。

#### ガラテヤの信徒への手紙3

22しかし、聖書はすべてのものを罪の支配下に閉じ込めたのです。それは、神の約束が、イエス・キリストへの信仰によって、信じる人々に与えられるようになるためでした。

聖書はすべてのものを罪とみなすところがあります。

#### ガラテヤの信徒への手紙3

24こうして律法は、わたしたちをキリストのもとへ導く養育係となったのです。わたしたちが信仰によって義とされるためです。

25しかし、信仰が現れたので、もはや、わたしたちはこのような養育係の下にはいません。

きまりを守ることは必要ですが、目の前のことをすることが道であることはあります。それによって基準を作る人も支えられることは考えられます。

#### ガラテヤの信徒への手紙5

1この自由を得させるために、キリストはわたしたちを自由の身にしてくださったのです。だから、しっかりしなさい。奴隷の軛に二度とつながれてはなりません。

何かができることによって次の行動が限定され自由が減ることもあります。

#### ガラテヤの信徒への手紙6

7思い違いをしてはいけません。神は、人から侮られることはありません。人は、自分の蒔いたものを、また刈り取ることになるのです。

自分が種を蒔くことによって自分に返ってくることはあります。

## エフェソの信徒への手紙2

8 事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。

9 行いによるものではありません。それは、だれも誇ることがないためなのです。

わたしたちは行動によって救われるとは限らないことも考えられます。行動することは必要ですが、ここでは行いによるのではなく信仰によって救われると考えられています。感謝することが大切であることはあります。

## エフェソの信徒への手紙5

6 むなしい言葉に惑わされてはなりません。これらの行いのゆえに、神の怒りは不従順な者たちに下るのです。

7 だから、彼らの仲間に入れられないようにしなさい。

むなしい言葉に惑わされ不従順な者たちの仲間に入れられないようにしなければならないことがあります。

## フィリピの信徒への手紙1

29 つまり、あなたがたには、キリストを信じるだけでなく、キリストのために苦しむことも、恵みとして与えられているのです。

今が充実しますと多くお金を使わなくても満足できることもあります。そのような今に幸いがあります。賃金を抑えても喜んで働けますと成長に繋がります。成長することを安定させることは大切です。

## フィリピの信徒への手紙3

14 神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることで

神はわたしたち共通の究極の目標であると考えます。一つの主に向かう、すなわち最も大切なことに向かうことは大切です。かけがえのないものを皆で作ることは大切です。目標はできる限りのことをすることであるかもしれません。

## フィリピの信徒への手紙4

4 主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。

わたしたちは悪いと思えますと悩み解決を求めますが、厳しいと思う時でも喜びが見つかることがあります。

## コロサイの信徒への手紙3

5 だから、地上的なもの、すなわち、みだらな行い、不潔な行い、情欲、悪い欲望、および貪欲を捨て去りなさい。貪欲は偶像崇拜にほかならない。

貪欲に生きることも必要ですが、偶像崇拜の一つは貪欲であると考えられています。

#### コロサイの信徒への手紙4

1 主人たち、奴隷を正しく、公平に扱いなさい。知ってのとおり、あなたがたにも主人が天におられるのです。

奴隷労働は望ましくありませんが、それとは別に現代でも支配者はいます。支配する人も支配されることを覚える必要はあります。

#### テサロニケの信徒への手紙二3

11ところが、聞くところによると、あなたがたの中には怠惰な生活をし、少しも働かず、余計なことをしている者がいるということです。

12そのような者たちに、わたしたちは主イエス・キリストに結ばれた者として命じ、勧めます。自分で得たパンを食べるように、落ち着いて仕事をしなさい。

できる限り自分で生活費を得られるように勤勉に働かなければなりません。仕事は落ち着いてする必要があります。

#### テモテへの手紙一5

25同じように、良い行いも明白です。そうでない場合でも、隠れたままのことはありません。

良い行いは後に明らかになることがあります。

#### テモテへの手紙一6

8 食べる物と着る物があれば、わたしたちはそれで満足すべきです。

9 金持ちになろうとする者は、誘惑、罠、無分別で有害なさまざまの欲望に陥ります。その欲望が、人を滅亡と破滅に陥れます。

10 金銭の欲は、すべての悪の根です。金銭を追い求めるうちに信仰から迷い出て、さまざまのひどい苦しみに突き刺された者もいます。

11 しかし、神の人よ、あなたはこれらのことを避けなさい。正義、信心、信仰、愛、忍耐、柔和を追い求めなさい。

生活必需品があり命があれば十分であると満足すべきであるという教えです。幸福感は主観的なものですが、それが最も幸いではないかと考える機会になります。

金銭を追求しますとさまざまのひどい苦しみに陥ることがあるようです。その代りになることは、正義、信心、信仰、愛、忍耐、柔和を追い求めることであると考えられています。

#### テモテへの手紙一6

20 テモテ、あなたにゆだねられているものを守り、俗悪な無駄話と、不当にも知識と呼ばれている反対論とを避け

なさい。

無駄話と反対論を避けるべきであることが述べられています。

テモテへの手紙二 1

9神がわたしたちを救い、聖なる招きによって呼び出してくださったのは、わたしたちの行いによるのではなく、御自身の計画と恵みによるのです。

わたしたちは行動することは必要ですが、招き救おうとされているのに先に動くことによって、いわばそこに神の救いが入ることを除く、すなわち周りが救いの手を差し伸べなくなることもあり得ます。先のことまで計画する必要はないこともあります。

テモテへの手紙二 1

14あなたにゆだねられている良いものを、わたしたちの内に住まわれる聖霊によって守りなさい。

自分にある良いものを守ることは大切です。

テモテへの手紙二 3

7いつも学んでいながら、決して真理の認識に達することができません。

いつも学びそれらの知識にどのような意味があるか、どのように役立てていけるのかについて認識することは大切です。

フィレモンへの手紙

14あなたの承諾なしには何もしたくありません。それは、あなたのせっかくの善い行いが、強いられたかたちでなく、自発的になされるようにと思うからです。

15恐らく彼がしばらくあなたのもとから引き離されていたのは、あなたが彼をいつまでも自分のもとに置くためであったかもしれません。

16その場合、もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者、つまり愛する兄弟としてです。オネシモは特にわたしにとってそうですが、あなたにとってはなおさらのこと、一人の人間としても、主を信じる者としても、愛する兄弟であるはずです。

善い行いが自発的になされるようにすることが望ましいことが記されています。過去の扱いを超え異なる形で人が遇されるべきことはあります。

### Ⅲ. おわりに

ヨハネによる福音書20

9 イエスは必ず死者の中から復活されることになっているという聖書の言葉を、二人はまだ理解していなかったのである。

亡くなった人が実際に生き返るとは考えられませんし教えられませんし命を大切にしなければなりません、それでも復活したことが記されています。正しいとは考えられませんが、面白いとは思えます。

復活を信じるくらいなら様々な事を再考できます。あの方ならどうされるか考えることもあります。どん底を見ますとそこで力が出ていることがあります。経営において業績が回復しますと報酬を増やせることは考えられます。2017年は宗教改革500周年でもあります。

恵みが皆様と共にありますように。

## 文献

- 1) 飛鳥昭雄『対立か和合か ユダヤの民 VS ヤハウエの民 NIPPON これが世界の行方を決める』ヒカルランド 2016年
- 2) いのちのことば社出版部翻訳『BIBLEnaviデイボーショナル聖書注解』いのちのことば社2014年
- 3) 久保有政『日本とユダヤ 聖徳太子の謎』学研パブリッシング2014年
- 4) 日本聖書協会『聖書GOOD NEWS BIBLE 和英対照 和文／新共同訳 英文／Today's English Version』2014年